

おいしい図書館 No. 43

講演会

図書館づくりは

街づくり

富山市立図書館

山本宣親さん

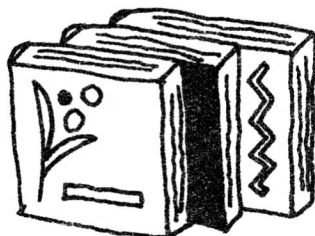
十一年前、私は図書館へ移動になり、腹が立ちました。その頃の私の街の図書館は、建物は古くて、狭くて暗くて、カビ臭い。そしてもの言わぬ職員がいる所で、誰もが希望して移動する所ではなく、左遷の筆頭にあげられる職場でした。でも、図書館に行って学ぶことになり、

自分の考えが間違っていたなと感じました。そもそれは、私だけが間違っているのではなく、行政全体が間違っていることに気づいたのです。図書館とは何かということを知らないで、そういう位置づけにしまわうのです。そして、最も知らないのは図書館職員だと気づいたので、たまたま見つけた本を見とくれる少しの市民と、大半が中高生の勉強の場所とした。図書館職員が、図書館って何かって知らなくて、どうして他の行政の職員が知ることができるとしよう。どんなに市長や教育長が偉くても、図書館とは何か知ってゐるわけがないのです。図書館職員が図書館でこういうものぞすという情報を提供しない限り、判りはしないのです。それをやってこなかった一番の

原因は、図書館職員だと思つたのです。

他にも原因はあります。国や県も他の分野とは基準や指針や指導があるのに、図書館は何もないのです。行政は上を向いて仕事をしているのぞ、国や県が言うことには従うのぞすが、図書館は何もないのぞやっこなかつたのぞす。

市民の責任



図書館職員にも大きな責任はあるが、それを良しとした市民にも責任はあるのぞす。市民が何も言わないと、行政は何もしないのぞす。本は入閣だけが食

べるどきる食物です。良心とか、知識とか目に見えない成長の食物ですから、楽しさや必要性を知らないと、読書欲はほっておくと萎えてしまふのです。見えない市民の健康を預るのが図書館であり、図書館の持つ力のすばらしさを知っている人は少数です。

今の時代は人の心の取りつこで、どれだけ人の心を多数にするかの戦いです。そういう基地となり、ステーションとなり、情報の発生源ともあり、収集場所ともあるのが図書館です。

行政と市民の

両輪で動く

街のことは自分達で決めよう
と思い、図書館職員が図書館を

知ろうと十一年前から懇談会をしていきます。人集めというのは、楽しい、良かった、すてきな人に会えるとかがなないと集まらないうのです。みんなが集まること
が楽しいと、司書の大切さ、必要性が理解されるのです。行政と市民の両輪が動くことが大切で



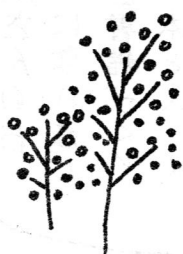
葉はつたはたか

す。自分のやったことに反応があり、やって良かったと報われた思いが次の運動につながる、仲間が増えていくのです。懇談会では市民の声を聞き、智慧を出し合ってやってきたのです。

懇談会を開くだけでなく、図書館に投書箱を置き、障害者に

は出向いて行ったのです。行政の施設は出来上ってから苦情が出ます。市民は声を出す所がなかったと言ひ、行政は言ったと言ひます。形だけの協議会と、図書館を利用したことのない人ばかりとは、話
は出さないのです。市民の声を聞くことは、行政

の仕事の基本なのです。懇談会では、障害者の使い易い施設は健康者も使い易い、職員の働きやすい施設は利用もしやすいと、この二つを基本にしてきたのです。



裏面へつづく

図書館づくりは

民主主義づくり

図書館を見れば文化が判るだけ之なく、民主主義のレベルの反映せず。図書館づくりは街の民主主義を作る運動であり、図書館の理解は民主主義の理解です。ただ、本の箱ものとしての図書館を作る運動ではなく、この松戸が住み良い街になり、市民による街づくりが行政に反映されるように民主主義の実践活動とあります。その頂点に在るのが私達と思つてほしいです。この活動に参加することが楽しい、心豊かになると思い、会を重ねるごとに会員が増えますように。私達には両手があり、それは隣の人と手をつなぐためです。人と手をつないだ時、運動

は進展し、その輪が大きくなるのです。この会へ応援の拍子を送りたいと思います。



この講演は、一九九七年十一月二十二日（土）、市民会館において、富士市立図書館副館長・山本宜親さんによるものです。

お話の中で、「図書館は客商売・民間は利益をあげるが、自治体はもうけではなく、市民サービスオーという大きな違いがある。」と言われたことが印象的でした。

(藤田喜江)

イラスト 山田明子

編集後記

山本さんのお書きになりました
た「図書館づくり
奮闘記・本と人、人と人が出会う場所めぐりして」を会で購入してあります。
又、山本さんより、「富士市立図書館」のビデオをいただきました。
御希望の方は、お申し出下さい。
ぜひ見ていただきたいものです
磯村

発行 おーい図書館
連絡先 青木和子

松戸市総合八三〇、六〇
〇四七(三六七)五三八四